

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

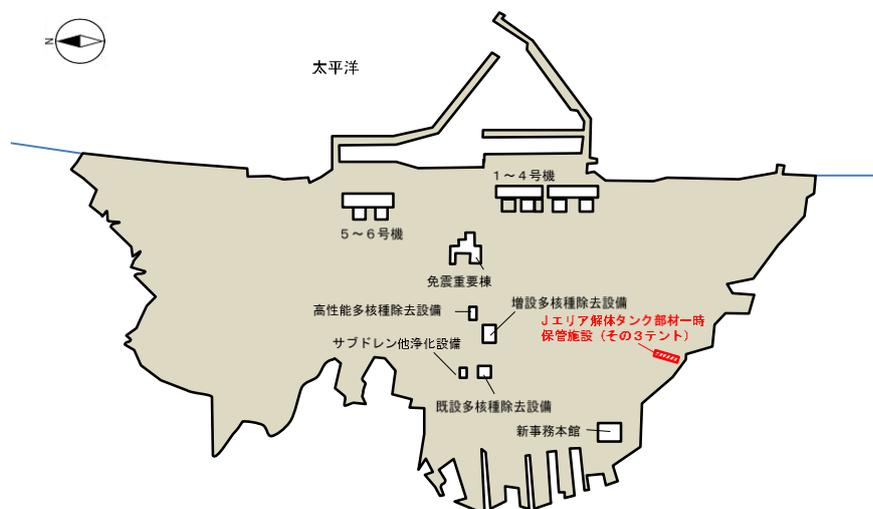
- 1 確認日  
令和6年6月4日（火）
- 2 確認箇所  
Jエリア解体タンク部材一時保管施設（その3テント）（図1）
- 3 確認項目  
増設雑固体廃棄物焼却設備廃棄物貯留ピット内伐採木チップの回収状況の確認
- 4 確認結果の概要

令和6年2月22日に増設雑固体廃棄物焼却建屋内廃棄物貯留ピットの火災報知器作動に伴い、保管してある伐採木チップの除熱のため散水（約1,200 m<sup>3</sup>）を行った。その後、3月22日より水没した伐採木チップを回収し、乾燥作業が開始されている。

今回は、回収した伐採木チップの乾燥作業等が行われている3つの施設のうち、Jエリア解体タンク部材一時保管施設（その3テント）における作業状況を確認した。（他2施設は令和6年5月29日に調査実施済。）

その結果、伐採木チップ内の温度管理や浸出水の漏えい対策が計画通り実施されており、作業は適切に行われていた。現場の状況は次のとおり。

- ・伐採木チップはエリア分けされ、1次乾燥、2次乾燥及び袋詰め乾燥作業が行われていた。（写真1）
- ・乾燥は床面を養生したテント内で行われており、適宜床面の清掃（飛散した伐採木チップ等の回収）が実施されており、テント外への飛散または漏えい対策が講じられていた。（写真2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 ①) 施設外観



(写真 1 ②) 1次乾燥



(写真 1 ③) 2次乾燥



(写真 1 ④) 袋詰め作業



(写真 1 ⑤) 袋詰めされた伐採木チップ



(写真 2) 清掃作業

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。